



例会:毎週水曜日 12:45~ 例会場:勇屋会館 事務所:安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F

R.I 会長メッセージ

TEL:0263(73)2901

FAX:0263(72)3181

E-mail : azumirc@poppy.ocn.ne.jp

持続可能な インパクトを 生み出そう

会 長 ニ木 正之 幹 事 丸山 慶四郎

R.I 会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ (トランス・アマディ RC)

ガバナー 橋上 信久 (飯田南 RC)

中信第一グループガバナー補佐 竹内 直彦 (大町 RC)



★配布・幹事報告 No.9 ・Rの友9月号
・RYLA2027 準備スケジュール

★ゲスト

・米山奨学生 銭 楚方さん・ブーティーユアンさん

★ 会長挨拶

【ニ木正之会長】

皆さん、こんにちは。

まず初めに、9月5日に開催されました、友好クラブである七尾みなとロータリークラブ創立40周年記念式典ならびに祝賀会にご参加いただきました皆さん、大変お疲れさまでした。

40年という長い歴史を積み重ねてこられた七尾みなとロータリークラブの節目を、友好クラブとして一緒にお祝いすることができ、大変意義深い機会であったと思います。

ご参加、ご協力いただきました皆さんに、改めて御礼申し上げます。

また、先週末には佐久でRYLAが開催され、当クラブからもご参加いただきました。

長時間にわたりご参加いただきました皆さん、大変お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

私たちあづみ野ロータリークラブは、次年度、このRYLAを主幹することになります。

実際に今年度のRYLAに参加していただいた経験は、来年度の開催を考えるうえでも、大変参考になるものと思います。お気づきになった点や、良かった点、また改善できそうな点なども、ぜひ今後の準備に生かしていただければと思います。

さて、本日の例会では、米山奨学生のユアンさんに卓話をしていただきます。

ユアンさんには、これまでも私たちのクラブの例会や活動に参加していただいておりますが、本日は改めて、ご自身のこと、研究や日本での生活、そしてこれからの目標などにつ

いてお話しいただけるものと思います。

米山記念奨学事業は、単に奨学金を支給するというだけではなく、日本で学ぶ若い人たちと私たちロータリアンが直接交流し、お互いの国や文化について理解を深めることに、大きな意味があります。

ぜひ今日は、ユアンさんのお話を楽しみに聞いていただきたいと思います。

そして、先ほども触れました来年度のRYLAについてですが、開催日を2027年9月25日土曜日として、地区の年間計画に仮押さえをしていただきました。

まだ約一年ありますが、日程が具体的に決まり、いよいよ準備を始める段階に入ってきました。

先日、開催までに何を決め、いつ頃までに準備していくのか、簡単な準備スケジュールも作成いたしました。

この後の理事会でも、このスケジュールをもとに、会場、実行委員会、プログラム、参加者募集など、一つずつ方向性を決めていきたいと考えています。

さらに、明後日18日には、松本大学ローターアクトクラブの設立説明会が開催される予定です。

当日は松本大学の学長先生や顧問を務められる先生も出席されると伺っておりますので、せっかくの機会でもあります。来年度のRYLAについてもお話をさせていただき、ローターアクトの皆さんの参加や協力、そして可能であれば、松本大学を会場としてお借りできないかということについても相談してきたいと思っています。

まだこれから決めていかなければならないことはたくさんありますが、一つ一つご縁をつなぎながら、形にしていきたいと思っています。

RYLAは、若い人たちがさまざまな仲間と出会い、学び、自分自身を見つめ、将来を考える貴重な機会です。

以前から申し上げておりますが、参加した若者から、

「あのRYLAに参加したことが、自分の人生の一つのきっかけになった」

そして、



「あづみ野ロータリークラブが主幹で本当に良かった」

そう言っていただけるような RYLA にしたいと思っています。
そのためには、会員の皆さん一人ひとりのお力が必要になります。

これから一年をかけて準備を進めてまいりますので、ぜひ皆さんにもご協力をお願いしたいと思います。

本日のユースさんの卓話、そして RYLA。

どちらも共通しているのは、若い世代と交流し、その成長を応援するというロータリーの大切な役割だと思っています。

それでは本日の例会も、どうぞよろしくお願いいたします。

★ 幹事報告

【丸山慶四郎幹事】

別紙参照



◇出席報告

会員総数 17 名 出席免除会員数 1 名	
本日の出席率	前々回(9月2日修正出席率)
出席者: 9 名	欠席者: 5 名
欠席者: 7 名	メキップ: 1 名
出席率: 69%	出席率: 76%

★ ニコニコ BOX 報告 (敬称略・順不同)

二木: 本日もよろしくお願いいたします。

丸山: ブーティーユースさん卓話 宜しくお願いします。

赤羽: 雨降りです。体調管理に気を付けましょう

小穴: 長い雨が続きます。災害になりません様に!!

笠原: RYLA の際は二木会長、赤羽さん
車ありがとうございました。

下里: RYLA お疲れ様でした。本日で満 71 歳になりました。

濱: 毎日雨模様で厭になります

場々: 七尾には二木会長の車で行きました。ご苦労様です。

藤森: ユースさんの卓話 楽しみにしています。



【計 9 件 32,000 円】

今年度のニコニコ BOX 計 265,000 円



【笠原プログラム委員長・小穴 SAA 委員長】

★本日のプログラム

米山奨学生 卓話



The Fool から Ace of Swords

ブーティーユース

皆さま、こんにちは。

本日は、卓話の機会をいただき、ありがとうございます。

私は、物語を語ることが好きです。
ただ、話し始めると、つい話があちこちに飛んで、長くなってしまいま

す。そこで今日は、2 枚のタロットカードに助けてもらいながら、この半年間の自分を振り返ってみたいと思います。皆さまの心に、何か一つでも残るお話ができればうれしいです。

今日のお話の題名は、「The Fool から、Ace of Swords へ」。日本語では、「愚者から、ソードのエースへ」です。

米山奨学金の面接を受けた頃、私は、自分でタロットカードを引いてみました。

「面接でお会いする皆さまは、私をどのように見るだろう?」
そう考えながら引いたカードは、0 番の「The Fool」、日本語で「愚者」でした。

そのときは、あまり深く考えませんでした。でも、米山奨学生になって半年がたった今、あのカードを少し違う目で見えるようになりました。

私にとって The Fool は、自由を求めて旅に出る人です。古い考えやしがらみから離れて、自分の道を歩きたい。でも、どこへ向かうのかは、まだはっきりしていない。夢を持ちながら、一人で道を探している「夢の迷子」のようにも見えます。そんな姿は、当時の私と重なるところがありました。自分の気持ちには正直でしたが、周りの人の気持ちや、その場の意味まで考えられていないことがありました。

例えば、私のために開いていただいた歓迎会でのことです。

お酒を勧めていただいたとき、私は、こう答えてしまいました。

「友達となら少し飲みますが、知らない人とは飲みません。」

今、思い出しても、恥ずかしくなります。皆さまは、私を歓迎しようとしてくださったのに、私は、そのお気持ちを考えず、自分の理由だけをそのまま伝えてしまいました。

それでも、藤森さんは叱ることなく、帰りには、私の率直さを認めてくださいました。その優しさを思い出すと、今でもありがたい気持ちになります。

帰ってから友人に話すと、「その言い方は失礼だったと思うよ」と注意されました。私も反省し、後輩にもこの経験を話しました。同じような場面で、自分の気持ちを伝えながら、相手への気遣いも忘れないでほしいと思ったからです。

その後、人と一緒に食事をする時間の意味を、少しずつ考え

るようになりました。飲み会は、お互いのことを知り、距離を縮める交流の場でもあるのだと思います。

私が反省したのは、断り方と、歓迎して下さったことへの感謝を十分に伝えられなかったことです。「ありがとうございます」の一言を添えることや、相手にどう伝わるかを考えることの大切さを学びました。

もう一つ、忘れられない出来事があります。

インターアクト地区大会で、中村先生のお話を聞いたことです。

先生は、東日本大震災での法医学の仕事について話してくださいました。お話を聞きながら、私は、自分にも命の危険を感じた経験が何度かあったことを思い出しました。そして、今こうして生きて、学び、皆さまと出会っていることは、当たり前ではないのだと感じました。

そのとき、「生きていられてよかった」という感謝とともに、これからの時間をどう使うかを考えました。自分の力を少しずつ伸ばして、いつか、誰かの役に立てるようにになりたいと思いました。

米山奨学生としての半年間、あづみ野ロータリークラブの皆さまに迎えていただき、いろいろな方と出会いました。自分の未熟さに気づくこともあれば、これから大切にしたいものが見えてくることもありました。

そして、もう一度カードを引いたとき、今度は「Ace of Swords」、ソードのエースが出ました。

ソードは「剣」、エースは「1」です。私はこのカードを、考えが整理され、新しい一歩を踏み出すことの象徴として受け取りました。

自由になりたいと願っていた私が、少しずつ、何のために学び、どんなふうに人と関わっていきたくのかを考えるようになりました。今の私にとって、ソードのエースは、その小さな変化を表す一枚です。

大学での学びにも、もう少しはっきりした目的を持ちたいと思っています。

卒業に必要な単位を計画的に修得し、4年生では就職活動にしっかり取り組めるようにしたいです。同時に、大学の文化活動やロータリーの活動にも、もっと参加していきたいと考えています。

授業では、「損保数理」で、損害保険の仕組みや、リスクを数字で考える方法を学びます。「経済規制の実務」では、ミクロ経済学やゲーム理論を使い、インターネットにつながるテレビや動画配信サービスを例に、企業間の競争や市場の問題を考えます。「経営戦略論」では、Apple やトヨタなどの企業を例に、企業がどのように強みを生かして成長するのかを学びます。

身近なサービスの裏側にある仕組みを知ることで、社会を見る目を広げたいと思っています。そして、学んだことを、将来の仕事や、人の役に立つことにつなげていきたいです。

母は、私に、「人から何かをいただいたら、自分も誰かのために何ができるかを考えなさい」と教えてくれました。

何も持っていないくても、誰かのそばにいたり、その人のために時間を使うことはできます。それも、かけがえのない贈り物になるのだと思います。

その言葉を思い出すたびに、皆さまが私にくださっている時間のことを考えます。

カウンセラーの藤森さん、例会のたびに送り迎えをして下さり、いろいろなお話をしてくださって、ありがとうございます。

事務局の加納さん、そして皆さま、ロータリーのさまざまな行事と一緒に参加してくださって、ありがとうございます。

親子丼も、お弁当も、皆さまと一緒に食べると、いつもおいしく感じます。食事をしながらお話しする時間も、私にとって大切な思い出です。

私は毎朝、「モーニングページ」というノートを書いています。ロータリーの行事に参加した後は、そこで出会った方や、心に残った言葉について、書きたいことがたくさんあります。

毎月の奨学金で学生生活を支えていただいていることに、心から感謝しています。そして、皆さまとの交流を通して、政治や経済、国と国との歴史的なつながりにも目を向けるようになりました。自分の生活の外にある、もっと大きな世界が、少しずつ見えてきた気がします。

安曇野や長野、そして日本も、少しずつ、私にとって「自分の居場所がある」と感じられる場所になってきました。

こうした経験の中で、もう一つ、深く感じていることがあります。

それは、皆さまからの信頼です。

若い人に奨学金を贈ることに、その人が学び、経験を重ね、成長していく機会を支える意味があると思います。そして、その奥には、「私たちは、あなたを信じています」という気持ちがあるのだと、私は受け止めています。

信じていただいているからこそ、その信頼に応えられるように、日々を大切にしたいです。学び続け、出会う人の話に耳を傾け、今の自分にできることから、誰かの役に立っていきたいと思います。

「The Fool から、ソードのエースへ」。

自由を求めて歩き出した私が、人と出会い、これから進みたい方向を少しずつ見つけていく物語です。

この先、私は誰と出会い、学んだことをどんな形で誰かに届けられるのでしょうか。

物語の続きは、これからの自分の行動で書いていきたいと思っています。

本日は、ここにいらしてくださり、私の話にお時間を使ってくださって、本当にありがとうございます。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

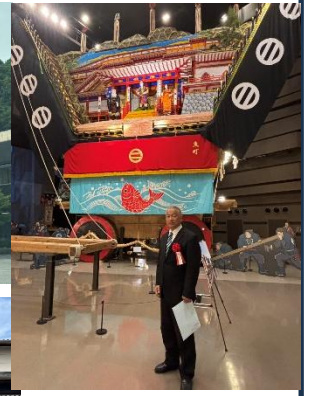


七尾みなとロータリークラブ創立 40 周年記念式典

©2026 年 9 月 6 日(日) お祭り会館・美湾荘

参加者:二木会長・笠原次期幹事・丸山隆会員

赤羽会員・場々会員



【 岡崎 敬規七尾みなと RC 会長 】



【 山野之義石川県知事 】



【 茶谷義隆七尾市長 】

七尾みなとロータリークラブ
創立 40 周年記念祝賀



【 二木正之の会長 】



第37回 RYLA in 佐久

RYLA(Rotary Youth Leadership Awards の頭文字)は、14歳～30歳位までの青少年を対象とした指導者養成を含む教育的、社会的研修プログラムです。

<主催>

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 橋上 信久

// 青少年奉仕委員会 RYLA小委員会

<ホストクラブ> 佐久コスモスロータリークラブ

<開催期日> 2026年9月12日(土)

<会場> 佐久グランドホテル

(〒385-0051 長野県佐久市中込 3-19-6)

Tel 050-1807-2145 (代表)

<大会テーマ>

「大志を抱き、未来を拓こう」～答えは君の中にある～

<タイムスケジュール> 9月12日(土)9:30～17:30

<基調講演>

講師:佐藤正久氏(元国会議員) 講師:喜多川泰氏(作家)

<グループディスカッション>

グループごとに青少年ならではの楽しいディスカッション

<参加対象者>

青少年(14～30歳位) 48名

公募参加 一般公募(東信地区の高校生対象)

推薦参加 各ロータリークラブから将来を嘱望する青少年

関係団体参加 インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ



参加者:二木正之会長・丸山慶四郎幹事・下里会長エレクト
笠原次期幹事・赤羽直前会長・ユアンさん・加納

【 ユアンさんに橋上ガバナーから修了証授与 】

